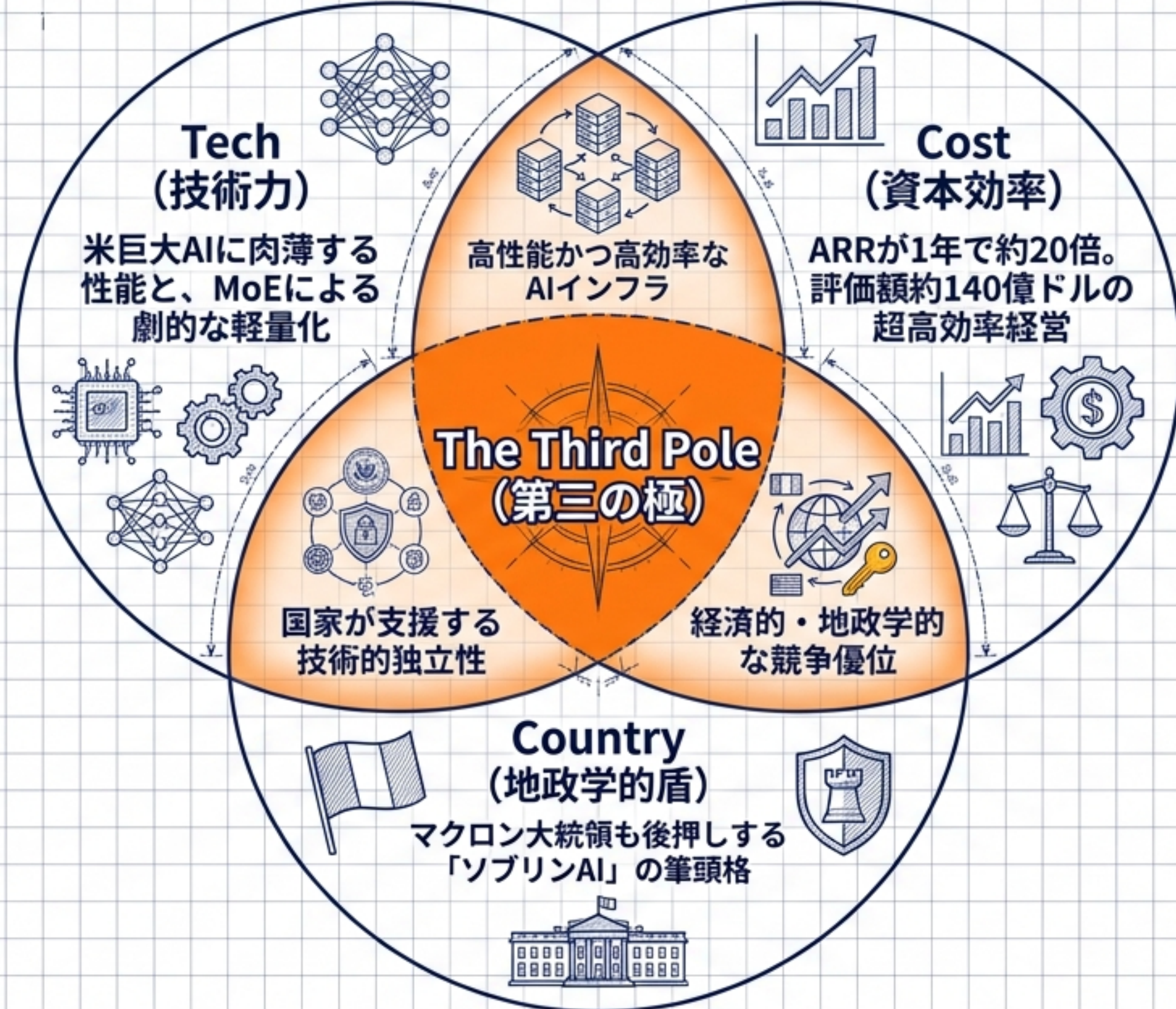


# 欧州発ソブリンAI「Mistral AI」の全貌

米国一極支配を打ち破る「超高効率」と「オープンウェイト」の戦略的哲学



# エグゼクティブ・サマリー：Mistral AIの特異性



# The Architect : 超高効率主義を生んだCEOの原体験



## Google DeepMind (2020-2023)

Chinchillaスケーリング則 (サイズよりデータ効率の極致)



## Inria 博士号 (fMRI脳画像解析)

巨大で複雑なデータの効率的計算



## エコール・ポリテクニーク (X2011) & ENS MVA

基礎数学と論理の徹底

「起業の90%は苦闘である」 — アーサー・メンシュ

技術万能主義を否定し、与えられた計算資源で最大の知能を引き出す「Chinchilla則」の経験が、Mistralの”効率重視”の背骨となっている。

# The Dream Team : EU史上最大のシード調達

Google  
DeepMind

効率化の極致



アーサー・メンシュ

Meta FAIR

オープン化 (Llama開発) の極致



ギョーム・ランプル &  
ティモテ・ラクロア

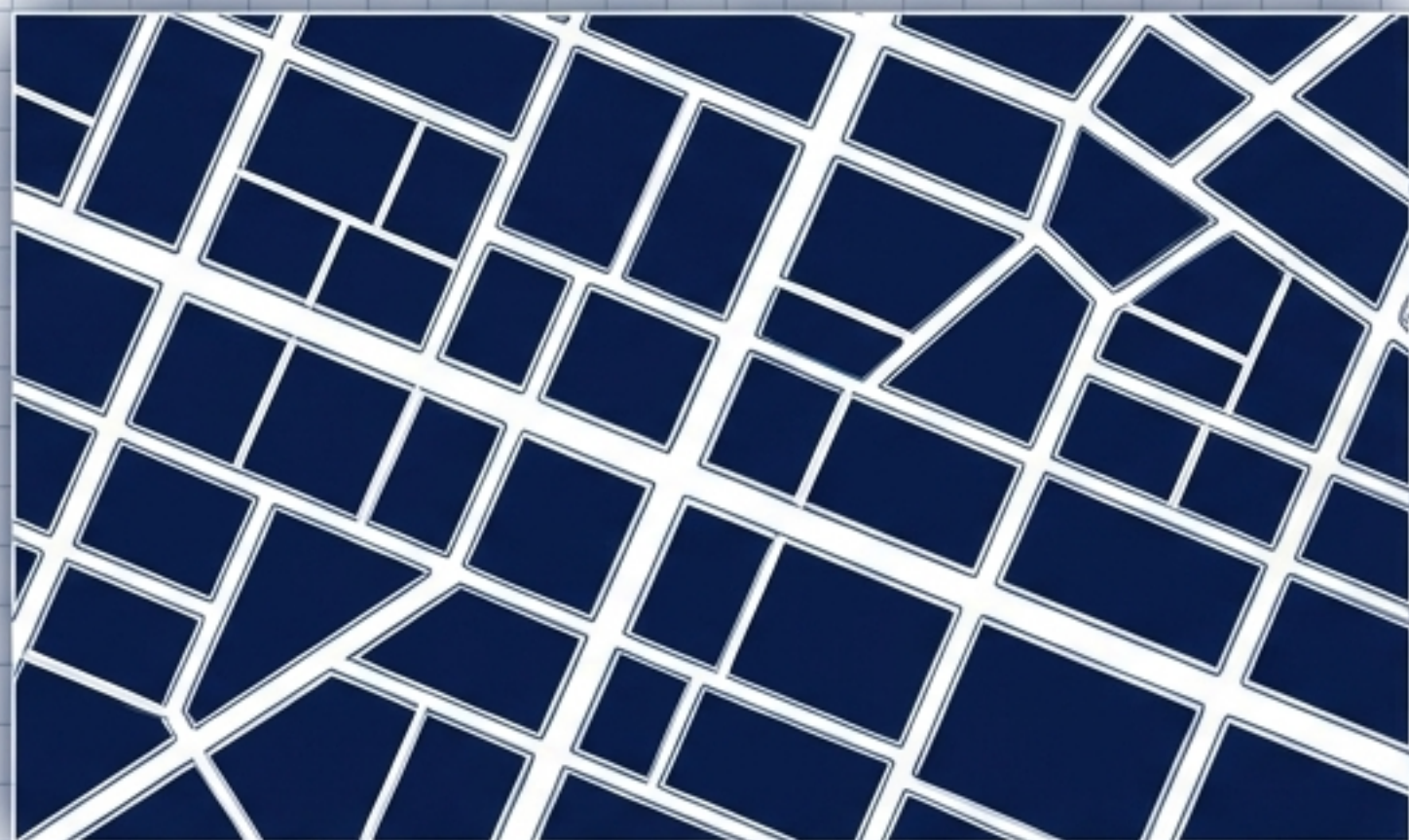
Mistral AI  
(Paris)

## The \$113M Memo

2023年6月、製品も論文もゼロの段階で、わずか7ページのメモのみで約1億500万ユーロ (約176億円) のシード調達を達成。「GPT-4級の巨大モデル構築経験を持つ人材そのものが最大の参入障壁である」という圧倒的説得力。

# Core Tech 1 : Mixture of Experts (混合エキスパート)

従来型 (密モデル)



全部の区画が常時点灯。全パラメーターがフル稼働するため、重く高コスト。

MoE (混合エキスパート)



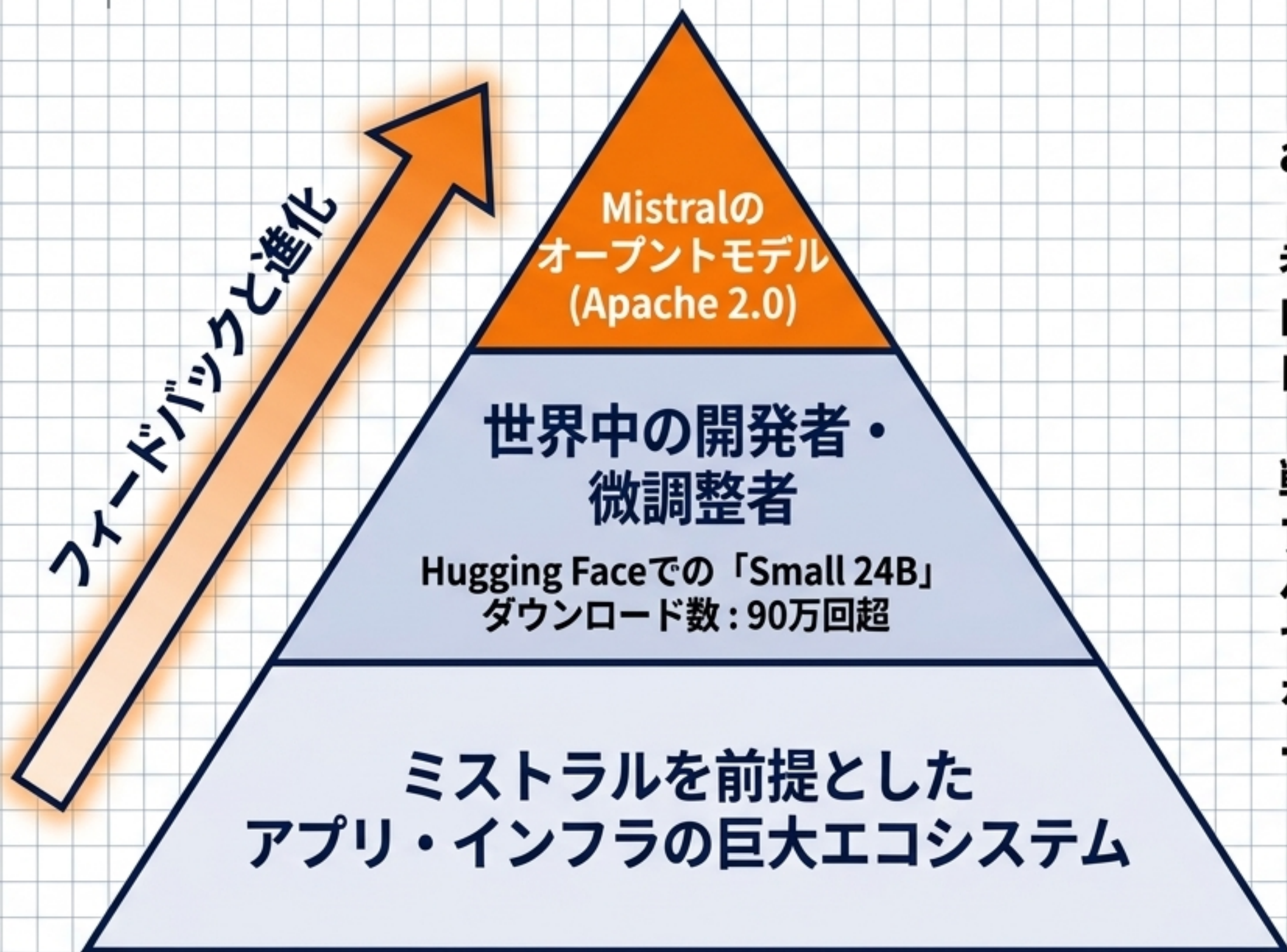
入力に応じて必要な区画だけが点灯するスマートシティ。特定の専門家ネットワークのみが稼働するため、軽く高効率。

## Mistral Large 3 の計算効率の魔法

総パラメーター数: 6,750億 → 稼働パラメーター数: わずか410億

「大きさだけが正義ではない」 — コストを劇的に抑えながら高性能を引き出すアプローチ。

# Core Tech 2 : Open Weights (オープンウェイトの衝撃)



a16zの評価：  
「今やほとんどのモデル微調整者やインフラプロジェクトが、Mistralのモデルを前提にロードマップを描いている」

戦略的意図：  
プロプライエタリ (囲い込み) への反逆。重みを公開することで巨大な開発者エコシステムを味方につけ、大企業のクローズドAPIに対抗する最大の「堀 (モート)」を築く。

# 巨人と挑戦者の非対称な戦い方

	米国ビッグテック (OpenAI, Anthropic)	Mistral AI
技術アプローチ	クローズド・規模重視	オープン・効率重視
APIコスト (100万トークン)	約\$3.00 (Claude Sonnet 4)	約\$0.40 (約87%安)
展開環境	クラウドAPI依存	オンプレミス・エッジ対応 (規制業種向け)
資本効率 (ROIC)	売上\$3.6Bに対し\$5.5Bの 赤字燃焼	極少資本で肉薄する 高利益率追求
米国エンター プライズシェア	Anthropic 40%, OpenAI 27%	わずか2% (別戦場を主戦場とする)

# The Business Engine : 開放と収益化を両立する三層モデル

**【最上層：高付加価値】**  
エンタープライズ・ソリューション  
規制産業向け・高単価・データ主権確保

**【中間層：収益基盤】**  
独自開発の最前線モデル  
API提供・従量課金モデル

**【基盤層：開放】**  
フリーのオープンウェイトモデル  
コミュニティ形成・業界標準化

**爆発的なARR  
(年間経常収益) 成長**

対話アプリ「Le Chat」  
仏首位からエンター  
プライズ版への進化。

2025年初頭：約2,000万ドル  
→ 2026年1月：約4億ドル超へ  
(1年で約20倍)

# Geopolitics : ソブリンAIと欧州の盾

米国依存

## 「属国化 (Vassal State)」への警告

2026年5月 仏国民議会での  
メンシュCEO証言：  
「米国製AIへの全面依存は、  
欧州の属国への転落を意味する」

## 冷徹な国家戦略

ソブリンAIは「鎖国」ではない。  
自前のAI生産能力を持つことで、  
米国企業や他国に対する「交渉力  
(レバレッジ)」を確保する防衛線。  
マクロン大統領による  
総額1090億ユーロ規模の  
インフラ投資が後押し。

# The VC Perspective : シリコンバレーの純粋な信仰と冷徹な打算

## 表の理由：純粋な技術信仰

AIは開かれているべき (a16z)

最高峰のエンジニアチーム

コミュニティによる爆発的進化

## 裏の理由：地政学的ヘッジ

米国一極集中リスクへのヘッジ

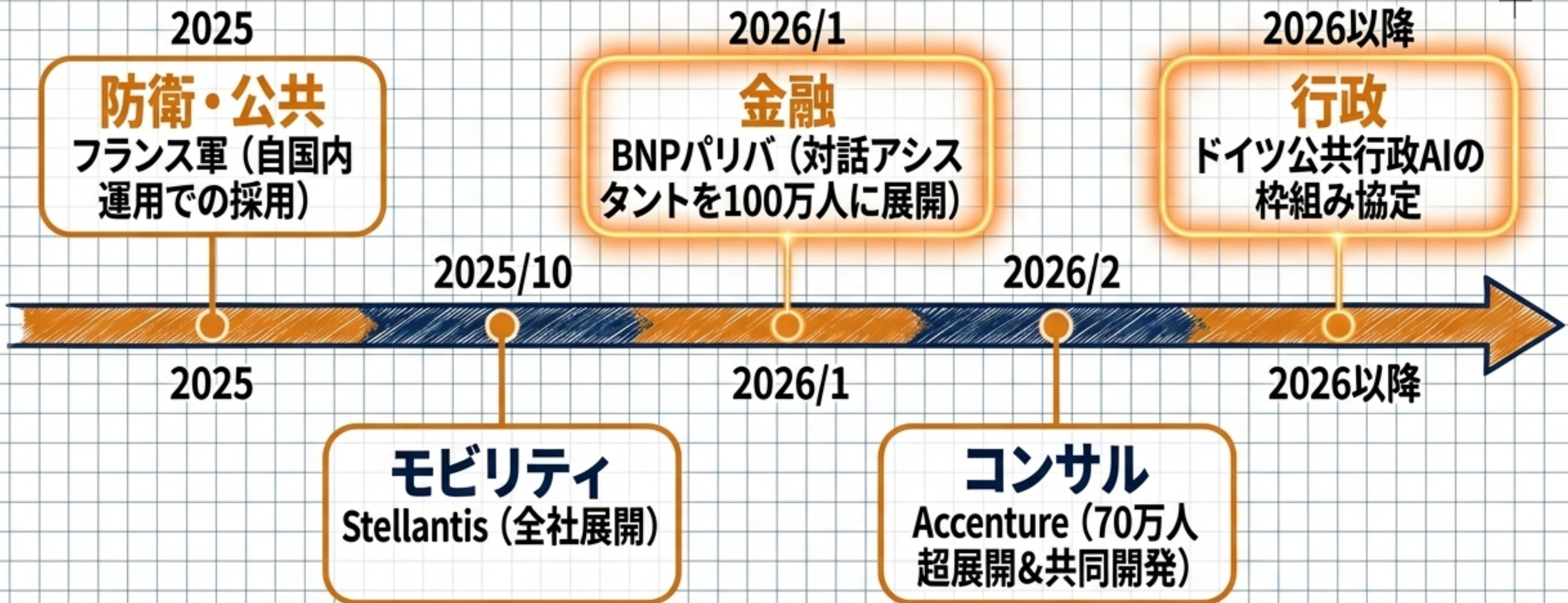
「世界の残り半分」の市場獲得

自国インフラの独立性確保

## The Series C Milestone (2025年9月)

評価額 約140億ドル到達。  
ASMLが単独で13億ユーロ (約2,184億円) を投じ筆頭株主へ。  
GPU調達のパトルネック緩和と、第三極の確立。

# Enterprise Traction : 規制・防衛産業での事実上の標準化



**Core Insight:** データ主権とオンプレミス運用を必須とし、「米国のAPIに依存できない」規制業種や政府において、独占的に市場を獲得しつつある。

# Building the Full Stack: ソフトウェアから物理インフラへの飛躍

## Layer 3: フィジカルAI&応用産業

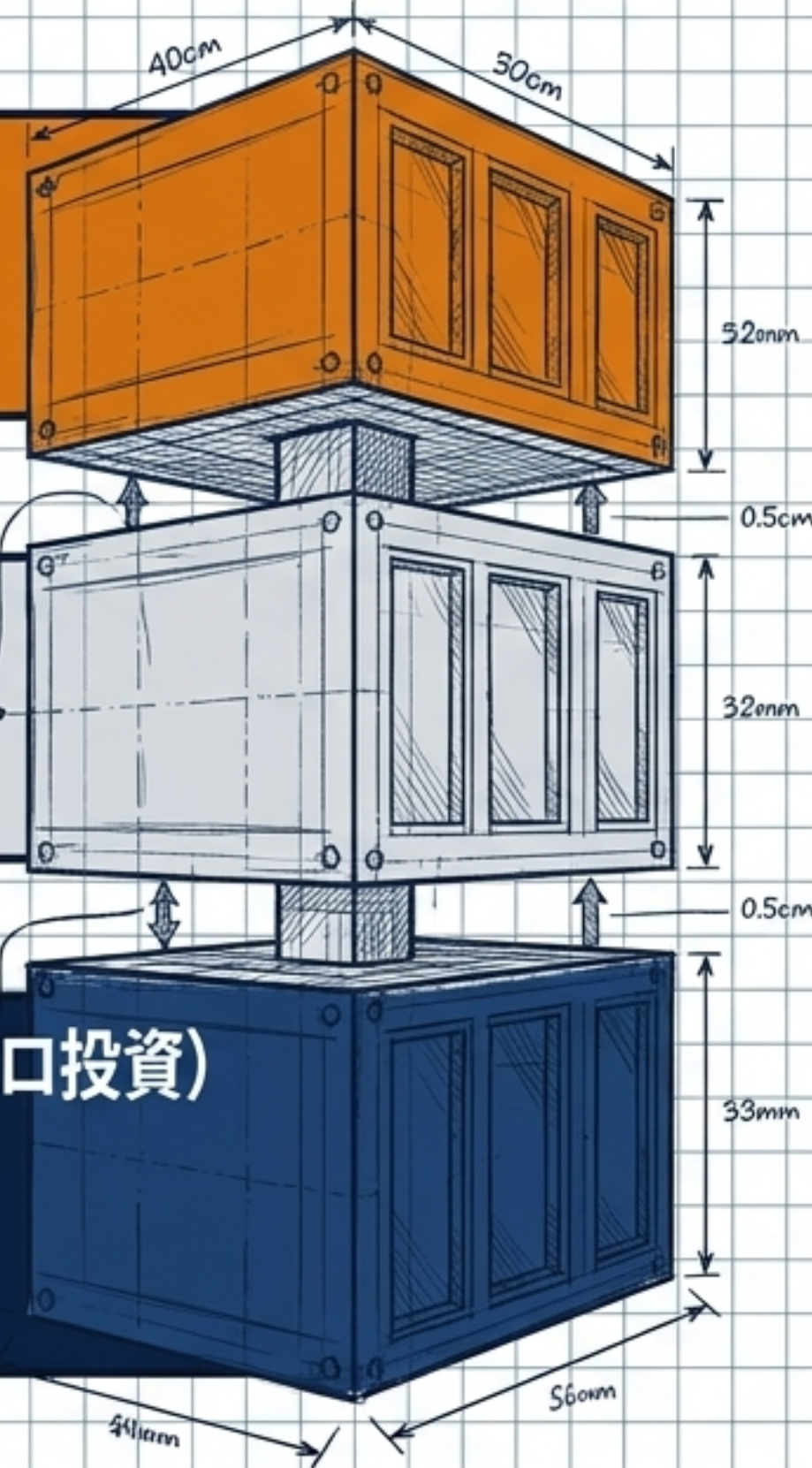
- ・物理シミュレーションAI「Phy AI」を3億ユーロで買収
- ・重厚長大・産業エンジニアリング領域への進出

## Layer 2: プラットフォーム&クラウド (M&A戦略)

- ・サーバーレス基盤「Kube」の買収と統合
- ・自前の計算資源確保 (負債8.3億ドル調達)

## Layer 1: 物理インフラ&データセンター (総額40億ユーロ投資)

- ・パリ近郊 44MW稼働 (2026 Q2)
- ・欧州全域 200MW展開 (2027)
- ・UAE連携 4GW級AIキャンパス着工 (2028~)



モデルプロバイダーからの脱皮。  
自社チップの検討まで含めた  
「真の独立」へ。「真の独立」へ。



# Conclusion: 第3の極は確立されるか (2026+ Roadmap)

- 2026 Q2: パリ近郊データセンター稼働
- 2026 通年: 売上10億ユーロ到達の可否
- 2026 後半: UAE 1.4GW拠点着工&アジア展開
- Long-term: 自社設計チップと独立を貫く「IPO」への布石

## 1. 超高資本効率の戦術

MoEとオープンウェイトがもたらす、巨人への非対称な戦い方。

## 2. 地政学の盾

「属国化」を拒む欧州の意志と、ソブリンAIという確固たる巨大需要。

## 3. フルスタックへの飛躍

AIモデル開発から、ハードウェアと物理インフラを握る次世代企業への進化。

## Appendix / Disclaimer

---

- **本資料に記載されている評価額（約137億～140億ドル）は、主要メディア（CNBC, Dealroom等）の報道に基づくものであり、為替変動等によりブレ幅が存在します。**
- **「欧州のAI消費が年間1兆ユーロに達する」という予測は、メンシユCEOの国民議会証言に基づく試算であり、確定値ではありません。**
- **本スライドは情報提供を目的としたものであり、特定の投資行動を勧誘・推奨するものではありません。**